

2年生ゼミで大島キャンプを実施しました

講師 高橋健介

8月下旬に、2年生の高橋健介ゼミが伊豆大島で3泊4日の大島キャンプ(伊豆大島野外生活体験学習)を実施しました。大島キャンプの目的は、豊かな自然環境や生活文化が残る伊豆大島において、3泊4日の生活体験や自然体験を通して、保育者として必要な感性や実践力を養うことです。

実際のキャンプでは、台風接近の影響で毎日とても風が強かったのですが、仲間と協力して、テントをたてたり、野外クッキングをするなど、大自然のなかでのキャンプ生活を楽しむことができました。最後の夕食では、各グループで焼きそば、タマタマ丼(タマゴとタマネギ)、トマトチーズリゾットを工夫しながら作っている姿がありました。

また、学生達のほとんどが初めての経験でもあり、シュノーケリングにも挑戦しました。まずは浅瀬で息づかいを練習し、多くの熱帯魚を見ることができたようです。イソギンチャクのなかにいるカクレマンミを見つけた学生もおり、「ニモがいた～」とはしゃいでいる姿がありました。海に遊びにきていた大島の子ども達とも楽しく交流することができました。大島の子ども達の華麗な飛び込み、深くまで潜るシュノーケリングなど、海っこの元気な姿に学生達は圧倒されていました。

3泊4日の大島キャンプでは、伊豆大島の多くの方々やフランスからの旅行者の方とも交流でき、普段の生活ではなかなか経験できない豊かな自然体験や生活体験をすることができました。そして何よりも、仲間と協力しながら、このキャンプ生活をやりとげたことで、学生それぞれが自分の世界を少しでも広げることができたのではないかと思います。これから2年半の学生生活でも様々なことにチャレンジして、ますます自分自身をみがき、保育者としての豊かな感性を養ってほしいと願っています。

※大島キャンプの詳細な報告は、ブログサイト「高橋健介研究室 フィールドワークの軌跡」(<http://kensuketlab.blogspot.jp>)にも掲載されています。ぜひご覧ください。

